

# 琉球大学学術リポジトリ

## 日米関係（沖縄返還）46

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43841">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43841</a>

官房長官談話(案)

中村秋吾氏より起案の依頼があったし、  
（コピーが1/30に付）

アメリカ局長 (印) 札  
参事官  
北米第一課長

参事官  
茶約局長  
茶約課長

官房参事官  
江分第  
官書記

官房長官 証詔 (兼)

昭和46年12月20日  
外務省

先般の沖繩返還協定の承認に引続き

一 本日沖繩返還協定自連四法系が国会の

承認を以て成立したことは政府の最も

欣快とするところである。

二 一九七〇年、沖繩返還協定は批准専使(一)道

外務省

か開かれたわけであり、沖繩県民をはじめ国民  
の多年の悲願であった沖繩の祖国復帰を實現  
するに王ハリトイよ目前に迫った次第である。  
三、 沖繩県民の長年の切望に報いるため  
にも、一日も早く内閣府復帰を實現し県民  
の利益を確保するとともに、明るく盛かびとして

外務省

〇  
〇  
〇  
〇

平和に沖縄県を建設することを政府に  
誅せられた使命である。今日の国連国内法の  
成立を新なる出発点として政府はこの使命  
の達成にまい進して行く所存である。

一層